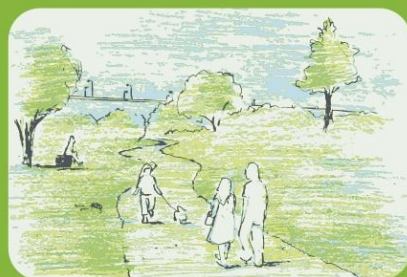
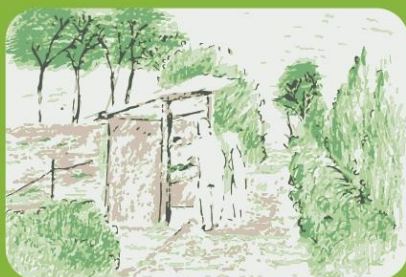
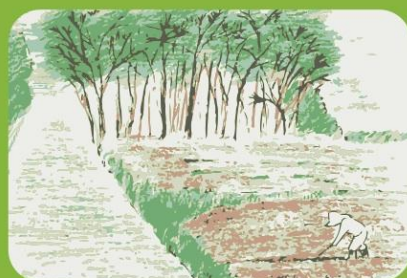
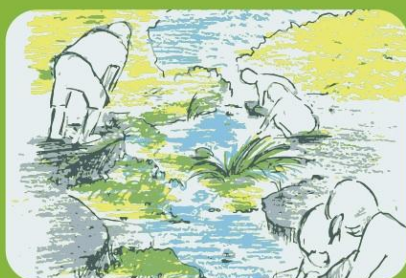
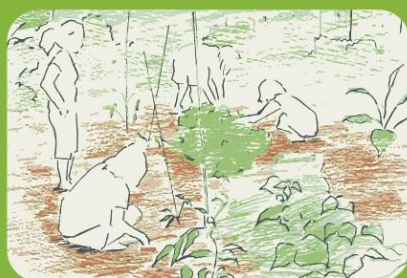


北野の里（仮称）を中心とした まちづくりワークショップ

～新たな北野地域の中心となる、緑や農の拠点を創ろう～

報告書



平成 26 年 3 月

北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ運営事務局

はじめに

北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ運営事務局

座長 進士 五十八

北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ（以下「まちづくりワークショップ」といいます。）が、去る2月11日・16日、3月9日の3日間に渡って、国土交通省・東京都、そして地元自治体である三鷹市の共催で開催されました。

三鷹市からの要望を受け、国土交通省と東京都が協働して「まちづくりワークショップ」を開催したことにつきましては、国と東京都に敬意を表するところです。

今回の「まちづくりワークショップ」は、市民の中から「無作為抽出方法」で選ばれた方々と地元の関係団体からの推薦による方々の参加により開催されました。

第2回では、「緑と農の創生」と「施設の整備」として、主に蓋かけ上部空間等の利用について議論していただくとともに、第3回では、「ジャンクション周辺地域の特性・資源」と「将来のジャンクション周辺地域のまちづくり」として、ジャンクション周辺地域の資源とまち並みについて議論していただきました。議論にあたり、中央ジャンクション（仮称）の整備を当該地域一体のまちづくりの機会として積極的に捉えることで、デメリットの解消だけでなく、北野らしさを大切にした土地利用の必要性を踏まえた活発な議論が行われたことは、今後の地域のまちづくりがより良いものになると期待できます。このジャンクション建設は、2020オリンピックに向けた首都圏全体の重要な事業であると同時に、三鷹市民の未来をおおきくふくらませる夢のあるまちづくりへの最大の切り札でもあります。だからこそ、三鷹市民すべての皆さんの知恵と参加と積極的な協力が、どうしても必要なのです。

新たな北野地域の中心となる緑や農の拠点の創出は、武蔵野の原風景につながる「地域のらしさ」を生かしたまちづくりに資するものであり、特別なシンボルを創るのではなく、歴史や田園を大切にした自然の恵みを感じられる北野地域の特性を生かしたまちづくりのイメージが広がることと思います。

私は、「東京外かく環状道路中央ジャンクション三鷹地区検討会」でも座長として、三鷹市の取り組みに関わらせて頂きましたが、「まちづくりワークショップ」の活発な話し合いの様子や発表を見て、改めて、まちづくりに対する三鷹市民の意識の高さを再認識した次第です。

このたび、「まちづくりワークショップ」に参加いただいた市民の皆さんから得られた意見について、報告書としてとりまとめるにあたり、全ての意見を掲載しました。また、各グループで“まとめた意見”について、傾向を分析し、全体としてまとめさせていただきました。

主催者である三鷹市と共催者である国土交通省、東京都、そして協力者である中日本高速道路株式会社、東日本高速道路株式会社には、市民の声を真摯に受け止めていただき、中央ジャンクション（仮称）と周辺の都市計画道路整備等に併せて、北野の「地域のらしさ」を生かしたまちづくりが進められるよう、今後の対応に可能な限り反映をしていただけることを期待します。

目次

1	ワークショップの目的と検討テーマ	1
	(1) 本報告書の位置付け	1
	(2) 東京外かく環状道路の概要	1
	(3) 北野の里（仮称）の概要	1
	(4) 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップまでの経緯	1
	(5) 参加者の抽出方法	2
	(6) 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップの特徴	2
2	話し合いの方法	3
	(1) まちづくりディスカッション方式の特徴	3
	(2) 話し合いの流れ	3
	(3) 話し合いのルール	4
	(4) 発表とシール投票	4
	(5) 話し合いのワークシート	4
	(6) 話し合いの前提条件	6
3	ワークショップの実施記録	6
	(1) 参加者数	6
	(2) プログラム	6
	(3) パーテーションの掲示物	10
4	まとめの考え方	11
	(1) ワークショップの成果の活かし方	11
	(2) 意見の記載について	11
	(3) 話し合いの結果のまとめ方	12
5	ワークショップの検討結果	14
	(1) 蓋かけ上部空間等の利用、ジャンクション周辺のまちづくりのまとめ	14
	(2) まち歩き（第1回ワークショップの記録）	35
	(3) 蓋かけ上部空間等の利用（第2回ワークショップの記録）	51
	(4) ジャンクション周辺のまちづくり（第3回ワークショップの記録）	85

1 ワークショップの目的と検討テーマ

(1) 本報告書の位置付け

本報告書は、北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ（以下、「ワークショップ」という。）で自由に議論され、出された参加者の方々のすべての意見をワークシートと共に掲載し、とりまとめたものです。今後、これらの意見を三鷹市が策定する北野の里（仮称）まちづくり方針に反映するとともに、第4のふれあいの里となる、北野の里（仮称）のまちづくりに生かしてまいります。

(2) 東京外かく環状道路の概要

東京外かく環状道路（以下「外環」という。）計画は、都心から半径約 15km を環状に連絡する延長約 85km の幹線道路です。関越道から東名高速までの約 16km については、平成 21 年 5 月に整備計画が策定され、さらに平成 21 年度補正予算が成立したことを受けて事業化しました。外環計画は、三鷹市の中原、新川、北野、牟礼、井の頭地域を約 3.3km にわたり南北に貫通し、更に北野地域において中央自動車道と連絡するジャンクションや東八道路と接続するインターチェンジ、換気所の設置が計画されています。

(3) 北野の里（仮称）の概要

北野の里（仮称）は、ジャンクション蓋かけ上部空間等及びジャンクション周辺地域を想定しています。第4次三鷹市基本計画において、ジャンクション上部を蓋かけし、周辺の農地の保全等を含めた「北野の里（仮称）」の整備に向けた取り組みを進めるとともに、周辺の都市計画道路の整備にあわせたまちづくりの誘導等を行うこととしています。

(4) 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップまでの経緯

外環計画は、市内全域に大きな影響をもたらす計画であることから、三鷹市では、平成 19 年 1 月、10 分類 42 項目の意見書を提出し、外環周辺のまちづくりや環境対策について要望してきました。国土交通省・東京都は、この要望を受け、三鷹市と共同で「東京外かく環状道路中央ジャンクション三鷹地区検討会」（以下、「三鷹地区検討会」という。）を開催し、100 名を超える市民の皆さんの参加により懸念や課題を検討しました。その結果を受けて、平成 21 年 4 月、国土交通省・東京都より、今後の課題やその解決のための「東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）対応の方針」が示されました。

三鷹市においては、ジャンクション蓋かけ上部空間等及びその周辺を含む地域一帯を「北野の里（仮称）」と位置づけるとともに、検討の際には、ワークショップなど市民の創造的な参画を可能とする手法を導入し、市民参加によるまちづくりが図られるよう国土交通省及び東京都に要

望しました。さらに、本格的な工事着手に先立って、平成 24 年 10 月、「東京外かく環状道路（関越～東名）中央ジャンクション（仮称）工事の実施及び北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ開催に先立つ三鷹市の要望書」を国土交通省関東地方整備局長に提出しました。こうした経緯をふまえ、平成 26 年 2 月に、市民参加による「北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ」を三鷹市、国土交通省・東京都が協働で開催し、ジャンクション蓋かけ上部空間等の利用の検討及びジャンクション周辺地域のまちづくりを検討することとなりました。

北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップで採用された市民参加の手法については、準備・運営会議で検討した結果、外環の専門性を考慮して、三鷹地区検討会で取り入れられた「まちづくりディスカッション方式」とワークショップの手法を合わせた方式とし、検討を行うこととなりました。

- ※ 準備・運営会議・・・ワークショップの円滑かつ効率的な運営を図るため、「北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ準備・運営会議」を設置し、運営要綱の策定、運営上の対応の検討などを行った。参加者は、関係団体から推薦された市民 31 人と行政 12 人の計 43 人。ワークショップの参加対象は、座長、全体進行役となった市民（3 人）、行政（12 人）を除いた 28 人。
- ※ まちづくりディスカッション方式・・・無作為抽出により選出した市民にまちづくりの課題などについて議論していただき、その結果を政策に反映させる取り組み。

（５）参加者の抽出方法

「無作為抽出」による市民参加の方法は、年齢や性別の偏りが少なく、広く市民に参加を呼びかけることができること、また、普段、市政に参加する機会の少ない市民の声を市政に反映させるための手法です。募集の対象地域については、外環計画が、市内全域に影響を及ぼす計画であるため、地域を限定せず市内全域を対象としました。

今回は、住民基本台帳を基に、18 歳以上の市民 1,000 人を「無作為抽出」により選出し、参加依頼書を送付しました。その中から、参加の承諾の返事をいただいた 41 人と、中央ジャンクションが整備され、影響を受けると考えられる北野地域の地元関係団体から推薦を受けた、準備・運営会議の市民メンバー 28 人と合わせた 69 人がワークショップの参加者として登録されました。

（６）北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップの特徴

今回の取り組みでは、平成 20 年度に開催された三鷹地区検討会に携わった、NPO 法人市民協働ネットワークが進行役を担い、また専門的な分野については、技術アドバイザーが携わり、市民参加によるまちづくりディスカッション方式でワークショップを運営したことが特徴です。

2 話し合いの方法

(1) まちづくりディスカッション方式の特徴

まちづくりディスカッション方式の特徴として、下記の点があげられます。

- ・無作為抽出型市民討議
- ・討議前に「テーマに沿った情報提供」⇒参加者の多くの意見を反映できる。
- ・グループごとの意見のまとめと発表、シール投票⇒「参加者の意見」の共有化及び傾向把握
- ・市民の進行役

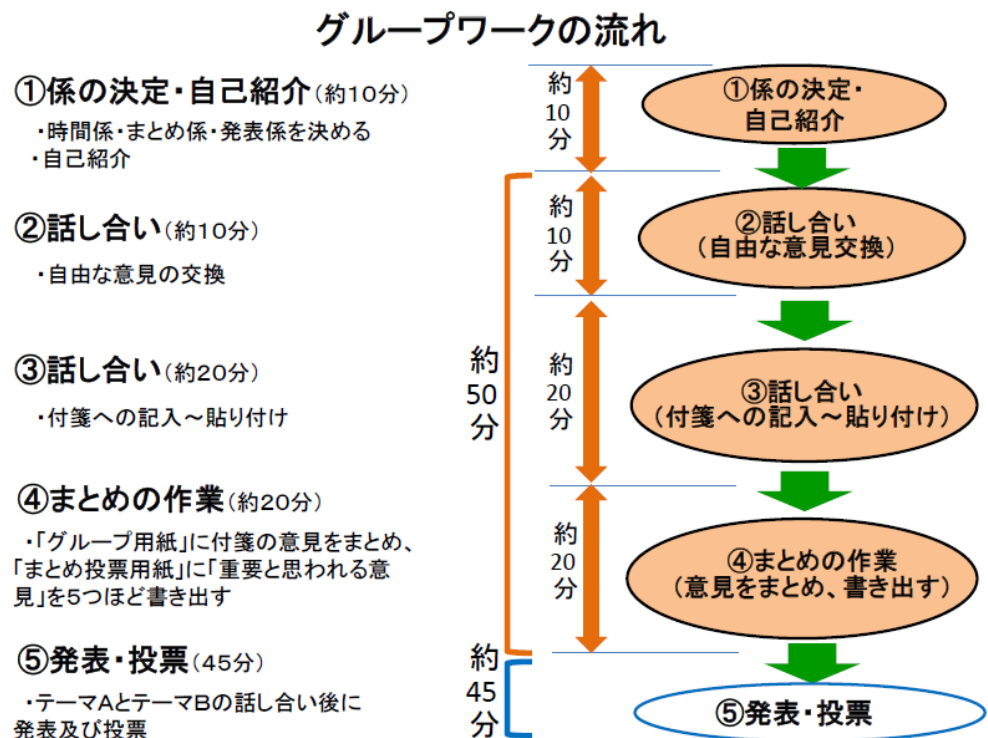
(2) 話し合いの流れ

話し合いは、8グループ（1グループ約7人）で行い、第1回目・第2回目と第3回目でグループの参加者を入れ替えて実施しました。

話し合いの進行は、それぞれのグループに配置された市民の進行役が務め、はじめに、話し合いのルールの説明や参加者の自己紹介を行いました。また、グループより「発表係」、「まとめ係」、「時間係」を決めて話し合いに入りました。

意見のまとめ方については、話し合いで出された各自の意見を付箋に記入し、ワークシート（模造紙）に貼り付けて、グループごとに分類整理をしました。出された意見から、投票の対象となる意見（5つ以内）を「まとめ投票用紙」に記入してもらい、対象にならなかった、残したい意見やユニークな意見等は「まとめ投票用紙」の残したい意見欄に記入してもらい、発表をしてもらいました。発表は、参加者（グループの発表係）が行いました。

話し合いの時間は、進行役による説明、自己紹介やまとめの作業を含め、前半のグループワークは60分、後半のグループワークは50分としました。



(3) 話し合いのルール

これまで三鷹市で行ってきた「まちづくりディスカッション」と同様に下の6ヶ条を採用しました。この「話し合いのルール」は、グループ内の討議を活性化させるために設定するもので、目に見える位置に掲示し、進行役が話し合いの前に読み上げることで常にこのルールを意識できるよう努めました。

話し合いのルール6ヶ条

1. 会議の目的は結論をだすことです。
何か決めて終わるようにし、後戻りしないでください。
2. 出てきたアイデアが実現可能かどうかは考えないでください。
3. ひたすらアイデアを出してください。
4. 相手のアイデアを否定しないで、ほめてください。
5. 全員みなさんが発言できるようにご配慮ください。
6. 人の意見を聞いて、自分の意見を変えてもかまいません。

(4) 発表とシール投票

各グループ約4分で発表を行い、その後、全員でシール投票を行いました。シール投票は、テーマごとに一人8枚のシールを用い、それぞれ共感した「まとめ」の意見に対して、自由に投票を行いました。ひとつの意見には、1枚を貼ることとし、使い切らずに余らせてもかまわないとしました。



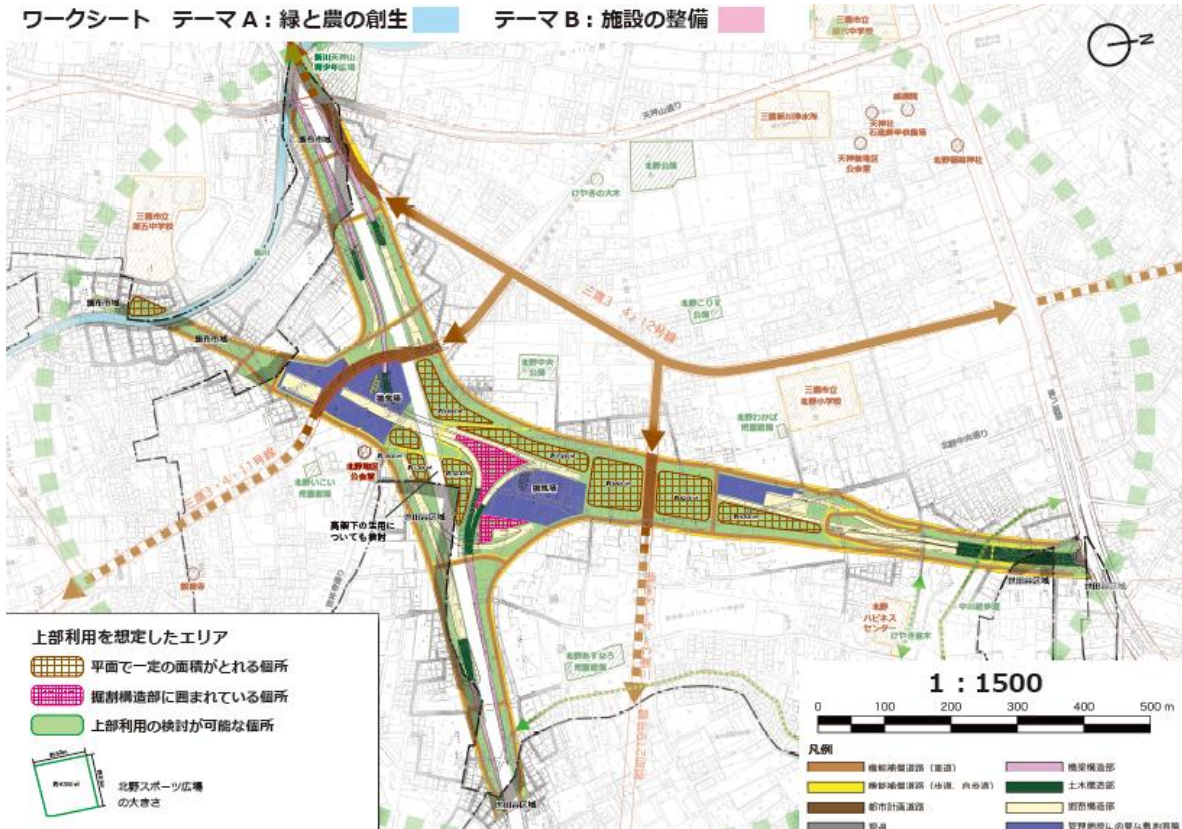
(5) 話し合いのワークシート

今回は、2日目のテーマA・Bでは、「蓋かけ上部空間等のワークシート」、テーマC・Dでは「ジャンクション周辺地域のまちづくりのワークシート」を使用しました。「蓋かけ上部空間等のワークシート」は、蓋かけ上部空間等において、「平面で一定の面積がとれる箇所」「掘割構造部に囲まれている箇所」などを記載し、「ジャンクション周辺地域のまちづくりのワークシート」では、周辺地域の資源、都市計画道路などを記載し、具体的な場所を特定した意見が出やすいようにしました。

【テーマA・Bのワークシート】

ワークシート テーマA：緑と農の創生

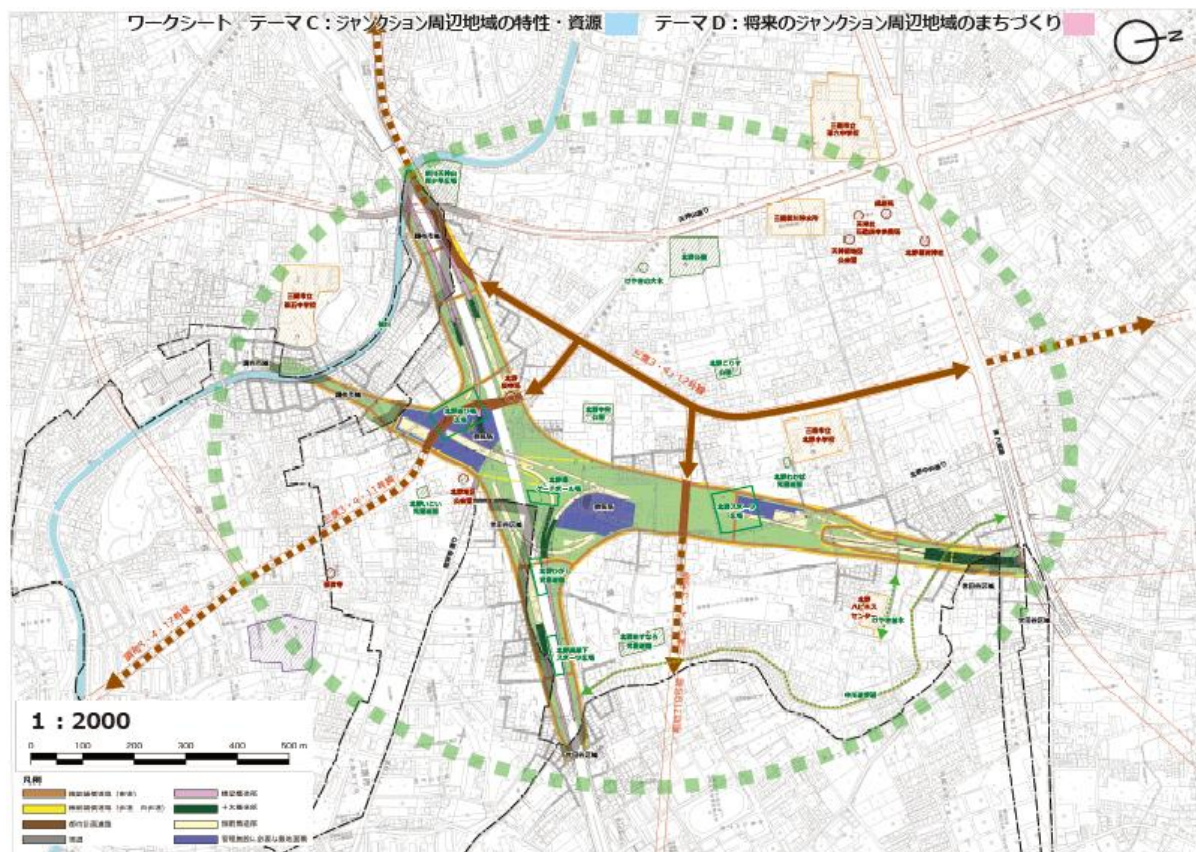
テーマB：施設の整備



【テーマC・Dのワークシート】

ワークシート テーマC：ジャンクション周辺地域の特性・資源

テーマD：将来のジャンクション周辺地域のまちづくり



(6) 話し合いの前提条件

話し合いに先立ち、蓋かけ上部空間等の利用にあたっては、法律や管理条件等の整理を要することから、今後、具現化するために、さらなる検討が必要である旨が示されました。特に管理施設（換気所、料金所など）、機能補償道路などについては、管理上の制限があり、また、蓋かけ上部空間等への荷重については、構造上の制限があります。なお、今回のワークショップは、このような条件に縛られずに自由に意見を出してもらうものです。

3 ワークショップの実施記録

ワークショップは、第1回ワークショップを2月11日（火）、第2回ワークショップを2月16日（日）、第3回ワークショップを3月9日（日）の計3日間行いました。

第1回ワークショップでは、ジャンクションが整備される北野地域のまち歩きを行い、ジャンクション整備予定区域及びその周辺地域の資源・特性を話し合いました。第2回ワークショップでは、ジャンクションの蓋かけ上部空間等の利用について、「緑と農の創生」、「施設の整備」をテーマにし、グループワークを行いました。第3回ワークショップでは、ジャンクション周辺のまちづくりについて、「ジャンクション周辺地域の特性・資源」、「将来のジャンクション周辺地域のまちづくり」をテーマにし、グループワークを行いました。



(1) 参加者数

第1回ワークショップ	54人	(平成26年2月11日(火) 午後1時～午後5時)
第2回ワークショップ	53人	(平成26年2月16日(日) 午後1時～午後5時)
第3回ワークショップ	44人	(平成26年3月9日(日) 午後1時～午後5時)

(2) プログラム

プログラムは次のとおりです。

第1回 ワークショップ 平成26年2月11日（火）午後1時～午後5時

会場：ふじみ衛生組合3F 研修ホール（調布市深大寺東町7-50-30）

内容：まち歩き（北野地域内のジャンクション整備予定箇所）

時間	所要	内 容
1日目 平成26年2月11日（祝） 午後1時～午後5時		
13:00～13:25	25分	1. 開会 開会、主催者・共催者あいさつ
13:25～13:35	10分	2. 進め方の説明
13:35～14:10	35分	3. 情報提供 東京外環の概要 三鷹市のふれあいの里の概要 ワークショップのテーマの説明 など
14:10～14:20	10分	4. 休憩
14:20～14:35	15分	5. まち歩きの説明
14:35～16:25	110分	6. まち歩き バスでジャンクション周辺地域まで行き、現地を見学（徒歩）
16:25～16:35	10分	7. 休憩
16:35～16:55	20分	8. まち歩きの感想
16:55～17:00	5分	9. 次回（2日目）のスケジュール説明
17:00		10. 閉 会

（説明内容等）

- ・まち歩きルート及びチェックシート
- ・東京外かく環状道路事業対応の方針の概要説明
- ・ふれあいの里・北野の里（仮称）の概要説明
- ・三鷹地区検討会の意見とまちづくりワークショップのテーマ・ポイント

第2回 ワークショップ 平成26年2月16日（日）午後1時～午後5時

会場:ふじみ衛生組合3F 研修ホール(調布市深大寺東町7-50-30)

内容:蓋かけ上部空間等の利用

時間	所要	内 容
2日目 平成26年2月16日（日） 午後1時～午後5時		
13:00～13:10	10分	1. 開会 開会のあいさつ
13:10～13:25	15分	2. 第1回のまち歩きの振り返り
13:25～13:40	15分	3. 情報提供 ジャンクションの上部空間等 検討いただく内容について など
13:40～13:55	15分	4. 話し合いの進め方の説明
13:55～14:05	10分	5. 休憩
14:05～15:05	60分	6. 話し合い テーマA:緑と農の創生 北野地域の新たな緑と農を創生しよう。 どのようなものを、どの場所につくっていくか話し合おう。
15:05～15:15	10分	7. 休憩
15:15～16:05	50分	8. 話し合い テーマB:施設の整備 蓋かけ上部空間等に新たな施設を検討しよう。 どのようなものを、どの場所につくっていくか話し合おう。
16:05～16:10	5分	9. 休憩
16:10～16:35	25分	10. 発表
16:35～16:55	20分	11. シール投票
16:55～17:00	5分	12. 次回のスケジュール説明
17:00		閉会

(説明内容等)

- ・第1回ワークショップ「まち歩き」の振り返り
- ・蓋かけ上部空間等の利用について
- ・グループワークの概要説明

第3回 ワークショップ 平成26年3月9日（日）午後1時～午後5時

会場：ふじみ衛生組合3F 研修ホール（調布市深大寺東町7-50-30）

内容：ジャンクション周辺地域のまちづくり

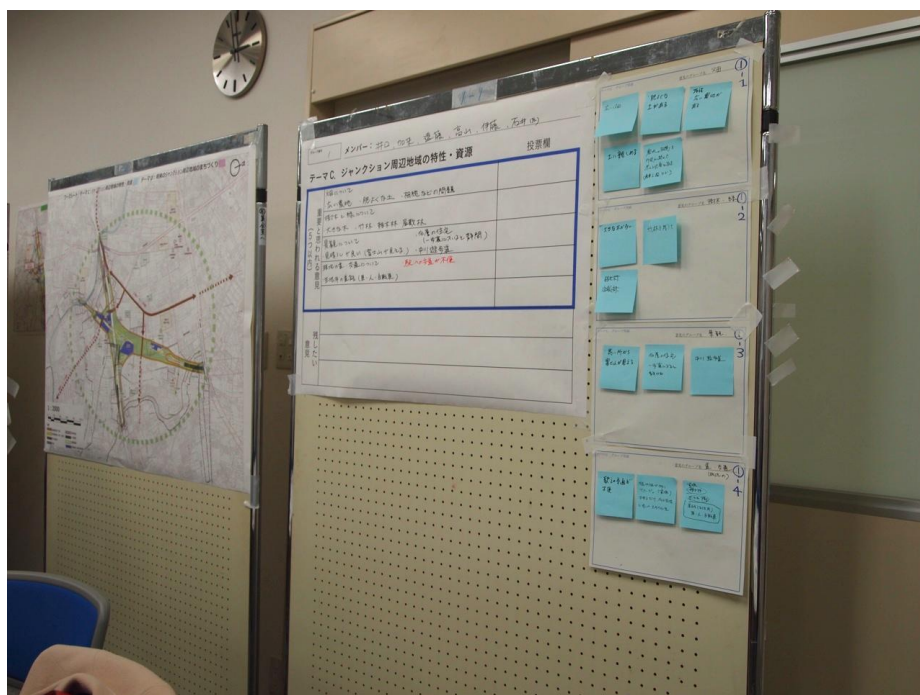
時間	所要	内 容
3日目 平成26年3月9日（日） 午後1時～午後5時		
13:00～13:05	5分	1. 開会 開会のあいさつ
13:05～13:20	15分	2. 第1回のまち歩き、第2回の検討内容の振り返り
13:20～13:35	15分	3. 情報提供 周辺都市計画道路や機能補償道路 ジャンクション周辺地域の特性・資源、まち並み など
13:35～13:40	5分	4. 話し合いの進め方の説明
13:40～13:50	10分	5. 休憩
13:50～14:50	60分	6. 話し合い テーマC：ジャンクション周辺地域の特性・資源 将来に残していきたい、ジャンクション周辺地域の特性・資源を話し合おう
14:50～15:00	10分	7. 休憩
15:00～15:50	50分	8. 話し合い テーマD：将来のジャンクション周辺地域のまちづくり ジャンクション周辺地域の特性・資源をふまえ、道路整備に ともなう「まち並み」を話し合おう
15:50～16:00	10分	9. 休憩
16:00～16:35	35分	10. 発表
16:35～16:50	15分	11. シール投票
16:50～17:00	10分	12. 閉会

（説明内容等）

- ・第2回ワークショップ テーマA・Bの重要と思われる意見・残したい意見の一覧
- ・第2回ワークショップ テーマA・Bのワークシートの主な意見
- ・ジャンクション周辺地域の特性・資源について
- ・将来のジャンクション周辺地域のまち並みについて

(3) パーテーションの掲示物

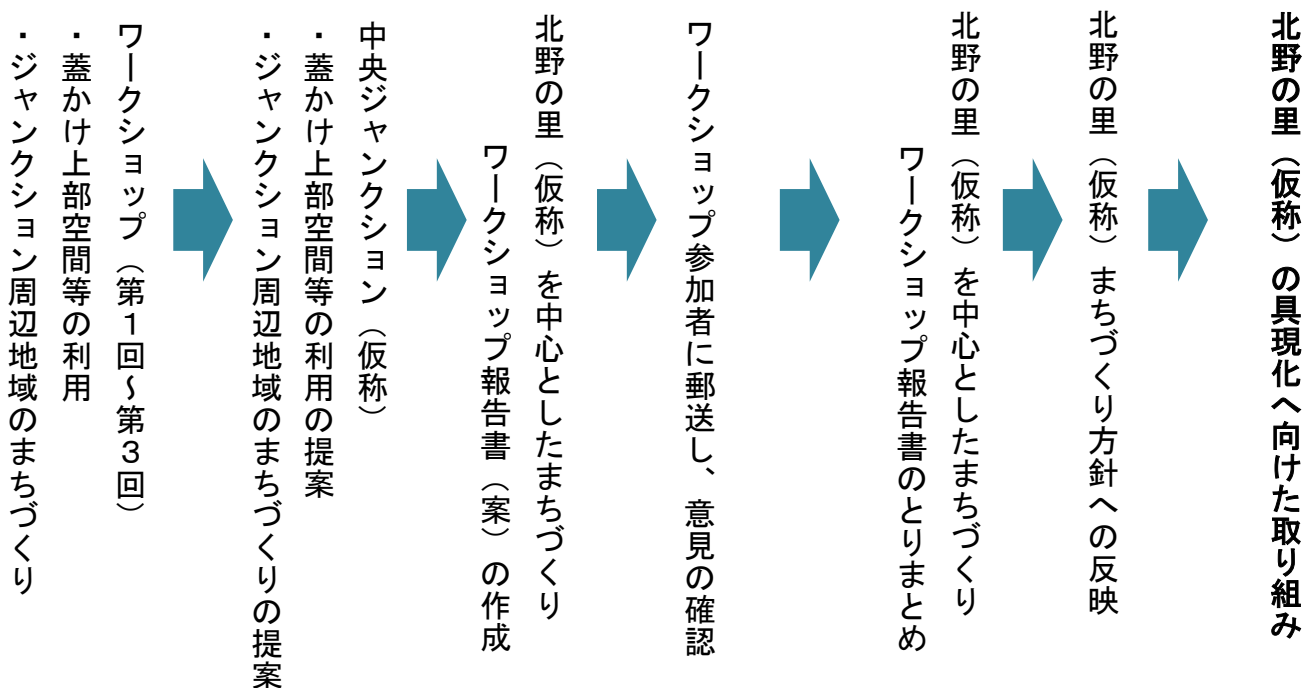
話し合いテーブルを囲むように、パーテーションを配置しました。話し合いの間、話し合いの流れやルールなど下記の4つの掲示物を、すぐ目の前で確認できるよう配慮しました。



4 まとめの考え方

(1) ワークショップの成果の活かし方

検討していただいた内容は、報告書（案）としてとりまとめ、参加者全員に送付して確認いただいた後、「北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ報告書」として確定し、公表します。この報告書については、今後、三鷹市が策定する「北野の里（仮称）まちづくり方針」にできる限り反映していくこととなります。



(2) 意見の記載について

下記の三点に沿って記載しています。

- ① グループごとの「まとめた意見」、「残したい意見」の他、ワークシートで個々の参加者が記述したものを全て報告書に掲載する。
- ② 誤字、脱字その他表記の誤り以外、付箋に書かれた内容については、ワークショップの自由意見として、原則としてそのまま掲載する。
- ③ 個人を特定できるものや誹謗、中傷する内容については、上記に係わらず、主催者等の判断で掲載しないこととする。

(3) 話し合いの結果のまとめ方

「話し合いの結果」について、以下の手順及び観点で全体のとりまとめを行いました。

(第1回まち歩きについて)

- ① 第1回のまち歩きにおける、チェックポイントごとの意見・感想を全て記載しました。
- ② 各チェックポイントごとの主な意見・感想を抽出しました。

(第2回・第3回のグループワークについて)

手順1. 各グループごとにとりまとめ

- ① 皆さんがワークシート（テーマA・B、テーマC・D）に添付した、付箋の内容をすべて記載しました。
- ② 皆さんがまとめられた「重要と思われる意見」「残したい意見」及び投票数を記載しました。
- ③ 各グループのグループワークのながれが分かるように「議論の概要」を記載しました。
- ④ 皆様のご意見が記載されてワークシート（テーマA・B、テーマC・D）を再現し、内容をすべて記載しました。

手順2. 「重要と思われる意見」「残したい意見」を中分類にとりまとめ

- ① 各回の話し合いごとに、全てのグループから出された「重要と思われる意見」「残したい意見」を共通項目を手がかりにして内容を中分類にまとめました。

手順3. 「重要と思われる意見」「残したい意見」を大分類にとりまとめ

- ① 全てのグループから出された「重要と思われる意見」「残したい意見」の中分類されたものをさらに共通項目を手がかりにし、内容を大分類ごとにまとめ、傾向を記載しました。
- ② 全てのグループから出されたテーマごとのワークシート（テーマA・B、テーマC・D）を主な意見、重なる意見を考慮しながら、一つのワークシートにまとめました。

■大分類にとりまとめ

全てのグループから出された「重要と思われる意見」「残したい意見」の中分類されたものをさらに共通項目を手がかりにし、内容を**大分類**ごとにまとめ、傾向を記載しました。

傾向の記載

大分類の項目

丸数字：グループ番号、【数字】：投票シール数

テーマA. 緑と農の創生

大分類	中分類	シール枚数
1) 緑について	緑、公園、既存樹木	96 枚
	並木・緑地帯	46 枚
	四季の花	26 枚
・既存樹木、雑木林や並木の確保に対する関心が高く、多くの投票があった。 ・季節感（四季）のある花や樹木、またそれらのある公園に対する要望が高かった。		
2) 農について	体験農園、市民農園	44 枚
・市民農園、学校農園、体験農園の創生に対し、多くのグループから要望があった。 ・日当たりなど、農園の配置についての意見が出されていた。		
3) 緑と農に関する施設について	子どもの遊び場、自然体験	57 枚
	自然エネルギー、防災、土の再利用	33 枚
	水、小川、池、ビオトープ	22 枚
・子どもが自然体験をしたがら、自分で考える場に関心が高く、多くの投票があった。		

■中分類にとりまとめ

各回の話し合いごとに、全てのグループから出された「重要と思われる意見」「残したい意見」を共通項目を手がかりにして内容を**中分類**にまとめました

中分類にとりまとめた
「重要と思われる意見」
「残したい意見」

中分類の項目

5) コミュニティについて

重要と思われる意見

■ コミュニティ・安全安心【70 枚】

- 地域住民が望まないものを以外は基本は全て残す⑤【18 枚】
- 地縁社会が良しとよりとして活きている（町会が1つ）⑥【14 枚】
- 子どもの安全⑧【13 枚】
- この地域の集会場などの安全・安心を確保する⑦【11 枚】
- 昔から住んでいる人も、移り住んできた若い人も元気がある②【5 枚】
- コミュニケーション（北野町会の市民分散をさせる、高齢、児童との出会いの場④【4 枚】
- 生活に密着した集いの場がある⑥【5 枚】

残したい意見

- 他地域にお住いの方々が北野の住民のことを考えた話をしてくれていることが素晴らしい。（北野お住いの方のご意見）⑤
- スポーツ広場⑥
- 三鷹市内で東と西で交流がないので、どうにかして交流の場を作る⑦

■各グループごとにとりまとめ

全てのグループから出された「重要と思われる意見」「残したい意見」「話し合いの全意見」を掲載し、話のながれが分かるように「議論の概要」を記載しました。

議論の概要

重要と思われる意見

残したい意見

話し合いの全意見

テーマA. 緑と農の創生

【議論の概要】

グループ2では、6,200㎡と6,400㎡の広い面積を芝生の広場にしてはどうかという話があった。灌水、排水、貯水施設を完備することで防災にも備えられる施設にするイメージである。一方、スポーツ専用に使えらる広場、プレイパークの機能を持った場所も必要という話や、大きな2面の空間をスポーツ広場と多目的広場として使い分けるといった話もあり、その場合必ず芝生というわけにはいかないという話もあった。植栽の考え方としては、北野の里（仮称）の周辺には、大きな木を植え、サンゴジュのような延焼防止になる樹種がよいという話があった。

【重要と思われる意見】

- ①スポーツ広場、多目的広場を作る【8 枚】
- ②広場周辺に木々に囲まれた桜・梅の広場や並木道を作る【10 枚】

【残したい意見】

- ①公園など広場を分断する車道の上に跨線橋を作る
- ②高齢者、幼児が一緒に利用できる施設

【話し合いの全意見】

- スポーツ広場、多目的広場を作る
 - ・ スポーツ専用広場とだれでも使える広場、2面必要
 - ・ スポーツ広場をつくる。換気所から離す（騒音）
 - ・ スポーツ使用と一般使用で交互に常に使えるようにする

5 ワークショップの検討結果

(1) 蓋かけ上部空間等の利用、ジャンクション周辺のまちづくりのまとめ

丸数字：グループ番号、【数字】：投票シール数

テーマA. 緑と農の創生

大分類	中分類	シール枚数
1) 緑について	緑、公園、既存樹木	96 枚
	並木、緑地帯	46 枚
	四季の花	26 枚
・既存樹木、雑木林や並木の確保に対する関心が高く、多くの投票があった。 ・季節感（四季）のある花や樹木、またそれらのある公園・広場に対する要望が高かった。		
2) 農について	体験農園、市民農園	44 枚
・市民農園、学校農園、体験農園の創生に対し、多くのグループから要望があった。 ・日当たりなど、農園の配置についての意見が出されていた。		
3) 緑と農に関する施設について	子どもの遊び場、自然体験	57 枚
	自然エネルギー、防災、土の再利用	33 枚
	水、小川、池、ビオトープ	22 枚
・子どもが自然体験をしながら、自分で考え、自由に遊べる場に関心が高く、多くの投票があった。 ・子どもが自然や農にふれあえる環境が望まれている。 ・環境に配慮した施設の活用、土や水の再利用、小川やビオトープの創出に多くの投票があった。 ・防災機能を備えた施設の意見が出された。		
4) コミュニティについて	地域コミュニティの維持、コミュニティの拠点、地域アイデンティティ	51 枚
	スポーツ広場、多目的広場	8 枚
	商業施設	6 枚
・三鷹ジャンクションへの名称変更に関心が高く、多くの投票があった。 ・地域コミュニティ維持のため、コミュニティの場の創出が望まれている。 ・スポーツ広場、多目的広場や商業施設の要望がある。		

1) 緑について

重要と思われる意見

■ 緑、公園、既存樹木【96 枚】

- 既存の樹木について 大きな樹木は前提として残す。シンボルツリーとして考える⑤【20 枚】
- 新しい樹木(植栽)について 地産地消、地元の緑を活かす⑤【20 枚】
- 雑木林や並木など緑地帯はできるだけ確保し、管理は国交省でしっかりやってほしい⑥【12 枚】
- 歴史と緑について 現存する大きな樹木を活かして場所を決める⑤【11 枚】
- 大きめの林を作る（夏涼しい場所）⑦【10 枚】
- 管理棟の上を利用した芝のスロープや富士山に見える築山、水遊び場、雑木林のある公園を作る（大人の秘密基地も）⑥【9 枚】
- 緑を作る（重要な樹木を残す・ポケットパーク・ハンギングバスケット）⑧【9 枚】
- 樹木について：ふたかけ部分（換気塔周囲、道路沿い）に（季節感）花や樹木をたくさん植えたい④【5 枚】

■ 並木、緑地帯【46 枚】

- 側道に並木をつくりたい（桜、ハナミズキ etc）③【18 枚】
- 三鷹の木／庭木を使用した通学路等への並木（季節を感じられる樹木、花、いちょう、けやき）⑥【12 枚】
- 広場周辺に木々に囲まれた桜・梅の広場や並木道を作る②【10 枚】
- 歩道にお花を植える③【6 枚】

■ 四季の花【26 枚】

- 四季の花咲くミニ公園（ベンチをおく）③【17 枚】
- 花畑について 敷地の確保が難しい場所。アップダウンをつけて立体感をだす⑤【7 枚】
- 花について：花とみどりの広場をつくろう（自由に触れられる、食用のもの）④【2 枚】

残したい意見

- 他市区との調和を考えた整備（並木など）③
- クヌギ林をつくりたい！！④

2) 農について

重要と思われる意見

■ 体験農園、市民農園【44 枚】

- 農園（市民・ビオトープ・学校・ガーデンセンター・田んぼ・キウイ）⑧【17 枚】
- 日当たりが良く、換気塔より遠くに、来場者のための駐車場のある体験（市民）農園を作る⑥【6 枚】

- 農園について 市民農園が必要。そこで作ったものを販売したい。⑤【5 枚】
- 水耕栽培（トマトのフレーム）⑦【5 枚】
- 農園をつくりたい（学校農園、市民農園、体験農園 etc）③【4 枚】
- 農について：（季節感）通年で市民が参加・体験できる農園スペースほしい④【4 枚】
- 現在の自然の魅力を活かして、地域特有の宿泊もできる体験農園を作りたい①【2 枚】
- 三鷹ファームのような市民農園を作る②【1 枚】

残したい意見

- 水はけの良い土で整備を③
- 水田みたいなものは可能なのか？⑤

3) 緑と農に関する施設について

重要と思われる意見

■ 子どもの遊び場、自然体験【57 枚】

- 子どもが自分で考え、自分で作り出す遊びが継続できる場（子ども会議をつくる）①【19 枚】
- 子どものための広場（〔1〕自由に使用出来る、〔2〕農としたしむ）⑧【15 枚】
- 子どもについて：（季節感）子どもがあらひのままの自然体験を通じて成長できる④【12 枚】
- 子供も自由に遊べる所を作ってほしい⑦【11 枚】

■ 自然エネルギー、防災、土の再利用【33 枚】

- 災害時や環境に配慮して、太陽光、水、地熱などを活用したい①【18 枚】
- 再利用（農地の土、地下水）⑧【11 枚】
- 2面の広場を芝生にして、灌水、排水、貯水施設を完備した防災にも備えられる施設を作る②【4 枚】

■ 水、小川、池、ビオトープ【22 枚】

- 水について：小川や池、ビオトープなど、常に水に親しめる④【12 枚】
- 立ち入り禁止区域に水を貯めて貯水池を作る⑥【10 枚】

残したい意見

- 水場を作る。かつて水路があった様なので、遊び場の様なものが欲しい⑤
- 週末に各商店街が催しが出来る場所を作ってほしい⑦
- いこいの場所としての足湯⑦
- 三鷹市にお金を落とす（農・商業含む）⑦
- 遊歩道を完備⑧

4) コミュニティについて

重要と思われる意見

■ 地域コミュニティの維持、コミュニティの拠点、地域アイデンティティ【51 枚】

- 中央ジャンクションから三鷹ジャンクションに名称変更（ジャンクションの形が鷹になってる）②【27 枚】
- 4つに分断される シンボル（花火大会など）をつくって、地域コミュニティを維持したい①【15 枚】
- お母さん達が集まれる小さなコミュニティを多くつくりたい⑦【4 枚】
- 住民の広場（お祭り広場）⑧【3 枚】
- 多世代が集えるまちのコミュニティの場がほしい①【2 枚】

■ スポーツ広場、多目的広場【8 枚】

- スポーツ広場、多目的広場を作る②【8 枚】

■ 商業施設【6 枚】

- 大型商業施設（SC）を作ってほしい⑦【6 枚】

残したい意見

- 道の駅⑧

テーマB. 施設の整備

大分類		中分類	シール枚数
1) 施設について	①道路施設	歩道、サイクリング、ランニングロード	54 枚
		道路	13 枚
	・ 外周道路には、サイクリングロードやジョギングコースを設ける要望が幅広いグループから出され、多くの投票があった。 ・ ケヤキ並木から北野小学校へ向かう道は直線にしてほしい意見に関心が高かった。 ・ 残したい意見として、ジャンクションの周辺に散歩道やサイクリングロードを設ける意見があった。		
	②コミュニティ施設	地区公会堂、憩いの場、展示場	51 枚
		スポーツ広場、多目的広場、防災広場	40 枚
		子どもの遊び場	13 枚
		コミュニティビジネス	10 枚
	・ スポーツ広場、北野遊び場広場（多目的広場）、地区公会堂の復元に関心があり、多くの投票があった。 ・ コミュニティビジネスに関する施設整備の意見が出されていた。		
	③教育施設	教育施設	19 枚
	・ 子育て教育施設の整備に関する意見に多くの投票があった。		
	④商業施設	商業施設、道の駅	31 枚
	・ 北野の農産物を直売できる「北野道の駅（仮）」など）設置に複数のグループから意見が出されていた。		
⑤駐車・駐輪施設	高架下の活用、駐車場・自転車置き場	39 枚	
・ 中央高速道路高架下を利用した駐車場、駐輪場に複数のグループから意見が出されていた。			
2) 環境配慮について		自然エネルギー、環境配慮	57 枚
・ 太陽光パネルなど、自然エネルギーを使った循環システムに関心があり、多くの投票があった。 ・ SOX、NOX、PM2.5 の規制値を観測する装置の設置に関心が高かった。			

3) 交通アクセスについて	アクセス、バス路線	34 枚
・バス路線や交通アクセスの向上に関心があり、多くの投票があった。		
4) 緑について	雑木林、並木、お花畑	10 枚
・雑木林、並木、お花畑などの緑に意見があった。 ・残したい意見として、緑の防音壁の意見が出されていた。		
5) 農について	体験農園	3 枚
・体験農園の設置が望まれていた。 ・残したい意見として、市民農園、三鷹ファームなどがあった。		
6) 管理方法について	施設の維持管理	11 枚
・農園や広場などの維持管理は、N P O 法人が全体管理をする意見に関心が高かった。		

1) 施設について

①道路施設

重要と思われる意見

■ 歩道、サイクリング、ランニングロード【54 枚】

- 外周道路についてサイクリング・ジョギングコースを設ける（メモリアルベンチを設置）トイレ、水のみ⑤【25 枚】
- 外周部の利用（サイクリングロード、マラソン遊歩道）⑧【16 枚】
- JCT 周辺の広さを利用したサイクリングロード、ランニングロード、長い坂を作ってローラー公園を作る（名物となるような）②【8 枚】
- 歩行者に優しい道路にしよう③【5 枚】

■ 道路【13 枚】

- 道路：けやき並木から北野小にむかう車道は直線にする⑥【13 枚】

残したい意見

- 周辺には散歩道やサイクリングロードをつくりたい①
- 公園など広場を分断する車道の上に跨線橋を作る②
- 学童の為の横断道を確保しよう③

②コミュニティ施設

重要と思われる意見

■ 地区公会堂、憩いの場、展示場【51 枚】

- 既存施設の復元（公会堂移設、神社、北野スポーツ広場）⑧【11 枚】
- 公会堂を広場とまとめて移動する（高齢者の集りやすい場所にする）⑤【11 枚】
- 北野の人たちが利用しやすい施設を！（公会堂）③【7 枚】
- 公会堂 2 つ目の公会堂（エリアが広いので）⑦【6 枚】
- 憩いの場 足湯・川・池・ゲートボール等⑦【5 枚】
- 3・4・3号線との接点に地区公会堂（広場も八幡神社も）、スポーツ広場を移転したい①【4 枚】
- 展示場を作る（遺跡出土品、JCT の模型、建設の技術・資料、コーヒーショップ）②【4 枚】
- 北野公会堂を新しく作る（移転）②【3 枚】

■ スポーツ広場、多目的広場、防災広場【40 枚】

- 自由広場 BBQ 等 屋外コンサート場、アニメ⑦【8 枚】
- 絶対必要：〔1〕バリアフリーのトイレ、〔2〕八幡神社、〔3〕北野遊び場・スポーツ広場④【6 枚】
- スポーツ広場・多目的広場（夜間照明あり）の設置（現在北野小学校庭で制限あり）。公会堂ひろば拡張⑥【6 枚】
- スポーツ施設（野球場、サッカー場、ロッククライミング、ゲートボール、砂場）⑧【6 枚】
- スポーツ広場を（ゲートボール場も）確保しよう（夜間照明、ロッカー、シャワーなども！）③【5 枚】
- 広場や空間にイベント、防災機能⑤【5 枚】
- 北野スポーツ広場を今と同じ規模で作る（P も必要）⑤【4 枚】

■ 子どもの遊び場【13 枚】

- 地形の変化に富んだ場所は子どもの遊び場ゾーンにしたい（子どもからの情報発信をする拠点もつくりたい）①【13 枚】

■ コミュニティビジネス【10 枚】

- コミュニティビジネス：北野が発展する、発信する源になる（〔1〕ジブリの森、〔2〕北野の湯、〔3〕レストラン飲食、〔4〕絵本・資料館、〔5〕朝市、フリマ）④【10 枚】

残したい意見

- 屋外スペース：自然と伝統と人が出会える屋外スペース（〔1〕富士山が見える展望スペース、〔2〕誰でも集まれるお祭りイベントスペース、〔3〕火が使える自由度の高いスペース、〔4〕動物とふれあえるスペース（ドッグランなど）④
- 高齢者、幼児と一緒に利用できる施設②
- 日本庭園、茶室、バーベキュー場、炊き火場②
- 八幡神社を残そう③
- スポーツ広場 野球、サッカー等⑦

③教育施設

重要と思われる意見

■ 教育施設【19 枚】

- 子育て教育施設（児童館、保育園、図書館、太陽光発電装置）⑧【19 枚】

④商業施設

重要と思われる意見

■ 商業施設、道の駅【31 枚】

- 商業施設 環境の悪いところに商業施設／道の駅⑦【11 枚】
- 北野の農産物を直売できる「北野道の駅（仮）」をつくろう③【7 枚】
- 商業施設（道の駅、ガーデンセンター、ミニ喫茶店）⑧【7 枚】
- 商業施設として道の駅、緑化センターのアンテナショップを設置し、収入を図る。体験農園等含む⑥【6 枚】

④駐車・駐輪施設

重要と思われる意見

■ 高架下の活用、駐車場・自転車置き場【39 枚】

- 駐車場・駐輪場の確保。中央道の下の活用。長距離トラック等のプールを作る（出口付近）⑥【15 枚】
- 高架下は、企業誘致により利益を地域還元、駐車場にも利用したい（自由に出入りできるように！）①【10 枚】
- 中央高速道下を駐車場、駐輪場にして道の駅を作る②【10 枚】
- 中央高速の下に自転車置き場（車より自転車利用）⑤【4 枚】

残したい意見

- 各施設に駐輪場及び駐車場を付属させよう③

2) 環境配慮について

重要と思われる意見

■ 自然エネルギー、環境配慮【57 枚】

- 掘割りに囲まれた場所、換気所周辺は、太陽光パネルを配置し、EVのコミュニティバスのエネルギーをつくる①【20 枚】
- 環境：自然エネルギーを使った循環システム（この場で使うエネルギーはこの場でつくる）④【17 枚】
- 換気塔の施設に SOX, NOX, PM2.5 の規制値を観測する装備を備える。併せて展望台も作る②【16 枚】

- 施設建物スペースの活用：丘を作り緑化（キーウィ・ヘチマ等）ゴミ処理施設と合わせて無害化。ゲートボール場の設置 排気塔に太陽光パネルを貼り発電する⑥【4 枚】

残したい意見

- 換気塔：環境測定（PM2.5 など）の 24 時間見える化④
- ソーラーシステムを作る（管理施設の屋根・カベを利用）⑤

3) 交通アクセスについて

重要と思われる意見

■ アクセス、バス路線【34 枚】

- バス路線をはじめ、交通アクセスを向上したい③【26 枚】
- 交通アクセス：三鷹駅からの循環バス、駐輪・駐車スペース④【8 枚】

4) 緑について

重要と思われる意見

■ 雑木林、並木、お花畑【10 枚】

- 雑木林 お花見、桜並木、お花畑⑦【10 枚】

残したい意見

- 緑の防音壁・トトロの森の様なシンボルを作る⑤
- 池、水辺、ビオトープがほしい①
- 景観として外灯にハンギングバスケットで花をかざる⑤

5) 農について

重要と思われる意見

■ 体験農園【3 枚】

- 平なところは、体験農園や広場にしたい（3・4・3号線との接点）①【3 枚】

■

残したい意見

- 市民農園 三鷹ファーム、水耕栽培等⑦

6) 管理方法について

重要と思われる意見

■ **施設の維持管理【11 枚】**

- 維持管理：NPO 北野の杜が全体管理（市民農場、花の広場、道具などの管理、対話の場）④【11 枚】

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

大分類	中分類	シール枚数
1) 緑について	緑、樹木	44 枚
	並木	42 枚
	自然	34 枚
・大きな樹木、並木（桜・ケヤキなど）や雑木林を残してほしい意見が幅広いグループからあり、多くの投票があった。 ・自然、仙川の自然を残す意見に多くの投票があった。 ・樹木などの管理についても関心が高かった。		
2) 農について	農地	30 枚
・広々と感じる農地（肥よくな土、畑など）を残してほしい意見に多くの投票があった。		
3) 景観、原風景について	景観、原風景	71 枚
・農の原風景に関する意見が幅広いグループからあり、多くの投票があった。 ・低層住宅で形成される良好な景観の保全に関心が高かった。 ・中川遊歩道、ケヤキ並木や神社などの地域資源に関心が高かった。		
4) 子どもたちの遊び場について	遊び場、広場、公園	31 枚
・様々な遊びができる広場（プレイパークなど）の創出に複数のグループから意見が出されていた。		
5) コミュニティについて	コミュニティ、安全安心	70 枚
・現在の地域のコミュニティ環境（コミュニティによる安全・安心）を残していくことに多くの投票があった。 ・地縁社会（子供、若い人、昔から住んでいる人、移り住んできた人）がよいまとまりで、元気があることに複数のグループから意見が出されていた。 ・残したい意見として、北野地区公会堂、北野小学校の建て替えが出された。		
6) 道路や生活環境について	道路、生活環境	16 枚
・駅への交通が不便との意見が出されていた。 ・交通量が少なく、生活環境が良いという意見が出されていた。 ・電柱地中化、バリアフリーなどの道路整備を望む意見があった。		

1) 緑について

重要と思われる意見

■ 緑、樹木【44 枚】

- 農地や並木道、雑木林などの緑が多い⑥【12 枚】
- 樹木と緑について 大きな木、竹林、雑木林、屋敷林①【10 枚】
- これからも四季を感じられる雑木林を残して欲しい②【9 枚】
- 雑木林等は、管理(落葉対策)・防犯の観点に配慮する⑤【7 枚】
- やむをえずうしなう緑は代替を検討する⑤【6 枚】

■ 並木【42 枚】

- 桜並木・ケヤキ並木を残す。(土の道・公園) ③【16 枚】
- 歴史あるけやき並木や美しい桜並木を増やし続けたい②【11 枚】
- 新設道路(都道)・統一並木(けやき、サクラ(そめいと河津さくら?) 他) ④【8 枚】
- けやきの大樹と並木を切らずに残したい⑦【7 枚】

■ 自然【34 枚】

- 仙川の自然を残す。(カワセミ・ホタル) ③【18 枚】
- 仙川の湧水が渇れない様に守りたい⑦【11 枚】
- 自然と人の流れの調和⑧【5 枚】

残したい意見

- 雑木林にメタセコイア(カブトムシが集まる木)を植える。落葉を集めて腐葉土に。②
- 緑の維持管理をするシステム②
- 並木祭りを行なえたら(サクラ、カワズサクラ) イベント④

2) 農について

重要と思われる意見

■ 農地【30 枚】

- これからも採れ立て野菜が採れる畑を残して欲しい(学校農園も大事) ②【13 枚】
- 広々と感じる農地・景観を残す⑦【11 枚】
- 畑について 広い農地、肥よくな土、相続などの問題①【6 枚】

残したい意見

- 北野の大地でできた農作物を提供できるレストランを作る⑦

3) 景観、原風景について

重要と思われる意見

■ 景観、原風景【71 枚】

- 北野環境 北野風景住宅と農地の原風景を残す④【20 枚】
- 農の原風景⑧【17 枚】
- 建物の高さ制限を現在と同じとする⑤【11 枚】
- 景観について 見晴らしが良い(富士山が見える)、低層の住宅(一步裏に入ると静閑)、中川遊歩道①【10 枚】
- 北野の農風景を残す。(雑木林・宿泊農体験・無人販売) ③【4 枚】
- 残したい風景(中川遊歩道、けやき並木通り) ⑧【4 枚】
- 古民家的な家並・神社・寺院を残す。③【3 枚】
- 中川遊歩道を守っていく⑦【2 枚】

4) 子どもたちの遊び場について

重要と思われる意見

■ 遊び場、広場、公園【31 枚】

- 子供が楽しめる場所⑧【9 枚】
- 様々な遊びができる広場を残したい。花火、BBQ、球技、ボーイスカウトなど②【8 枚】
- プレイパーク(三鷹風)、子供の遊び場を残す。③【8 枚】
- 北野公園整備 東へ拡張して(トイレ、遊具、街灯、ベンチ、高齢者と子供のいこい)、くぬぎ林④【6 枚】

5) コミュニティについて

重要と思われる意見

■ コミュニティ、安全安心【70 枚】

- (地域住民が望まないもの以外は)基本は全て残す⑤【18 枚】
- 地縁社会が良いまとまりとして活んでいる(町会が1つ) ⑥【14 枚】
- 子どもの安全⑧【13 枚】
- この地域の集会場などの安全・安心を確保する⑦【11 枚】
- 昔から住んでいる人も、移り住んできた若い人も元気がある②【5 枚】
- コミュニケーション(北野町会の市民分散をさける、高齢、児童との出会いの場) ④【4 枚】
- 生活に密着した集いの場がある⑥【5 枚】

残したい意見

- 他地域にお住まいの方々が北野の住民のことを考えた話をしてくれていることが素晴らしいかった。（北野お住まいの方のご意見）⑤
- スポーツ広場⑥
- 三鷹市内で東と西で交流がないので、どうにかして交流の場を作る⑦
- 北野公会堂の建て替え⑧
- 新しい小学校（建て替え）⑧

6) 道路や生活環境について

重要と思われる意見

■ 道路、生活環境【16 枚】

- 現況の道・交通について 生活用の道路（車・人・自転車）、駅への交通が不便①【7 枚】
- 生活環境が良い（アップダウンが少ない、交通量が少ない）⑥【5 枚】
- 道路整備（電柱地中化、自転車専用、段差なし、照明は環境を考えて、バリアフリー化）④【4 枚】

残したい意見

- 蓋かけ部分への誘道はかる④
- 整備は、国と三鷹、調布、世田谷で十分協議する⑤
- 東八道路沿には商業施設が多い⑦

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

大分類	中分類	シール枚数
1) 緑について	緑化、緑地	19 枚
	街路樹、並木	12 枚
・緑を多くしたい傾向があり、沿道には並木を整備し、敷地内には生垣や緑地帯を設ける意見に関心が高かった。 ・屋上緑化に関する意見があった。		
2) 農について	直売所、地産地消	21 枚
	農地	15 枚
・野菜の直売所の設置に多くの投票があった。 ・農地のクラインガルテンとしての利用など地産地消に要望があった。		
3) にぎわい施設について	商業施設	34 枚
・地場野菜を使用した飲食店に多くの意見があり、施設の整備が望まれている。 ・三鷹の農産物を売る農産物直売所、道の駅などの施設に多くの意見があった。		
4) まちづくりのルールについて	まちづくりのルール	27 枚
・建物の用途規制や看板の制限に関する要望が多く出されていた。 ・緑豊かな地域を残すルールが望まれていた。 ・残したい意見として、建築物のスカイラインや色彩をそろえる、まちづくりの意見があった。		
5) コミュニティについて	コミュニティ	45 枚
・コミュニティの中心となる施設（スポーツ広場・公会堂・北野コミュニティ・センターなど）の設置に関する要望が複数のグループから出されていた。 ・安全・安心に関する意見や交番の設置に関心が高かった。		
6) 道づくりについて	安全で使いやすい道路・歩道の整備	103 枚
	遊歩道・回遊ルート	34 枚
	道路設備	17 枚
・将来を見据えた道路構造にする意見に多くの投票があった。 ・生活道路や通学路に安全・安心を求める意見が幅広いグループから出され、多くの投票があった。 ・電柱の地中化や車いすへの配慮など、バリアフリーの道路整備に関する要望が多く出された。 ・北野の地域をつなぐ遊歩道の整備に多くの投票があった。		

・都道の延伸を求める意見があった。		
7) 自然エネルギーについて	自然エネルギー	8 枚
・自然エネルギーを活用したまちづくりへの要望があった。		

1) 緑について

重要と思われる意見

■ 緑化、緑地【19 枚】

- JCT 出入口周辺の樹木や植栽を整備して緑のカーテンを作って欲しい②【6 枚】
- 沿道の民地境界に緑地帯をもうける⑥【6 枚】
- 樹林について 親子で遊べる公園や大規模な緑地、塀は生垣に①【5 枚】
- 大規模マンションに屋上緑化を義務化②【2 枚】

■ 街路樹、並木【12 枚】

- 沿道に並木を作る（桜、落葉しない木、果樹ロード）⑥【6 枚】
- 北野の里周辺の並木（昭和記念公園の様なイメージ）④【5 枚】
- 新しい道路には街路樹を植える(常緑樹)⑤【1 枚】

残したい意見

- 湧水に注意(昔はあった)⑤
- 計画道路の並木は管理しやすい 楽しめる木を考える くぬぎ林、はなみずきなど けやきは住民の苦情が出る可能性も指摘された⑦

2) 農について

重要と思われる意見

■ 直売所、地産地消【21 枚】

- 野菜の直売所を設置（農地の前、住居のそば）②【14 枚】
- 地産地消の施設（市民交流施設を兼ねたクラインガルテン（花壇・農園）、農作物の販売所）③【7 枚】

■ 農地【15 枚】

- 農地について レンタル農地、長期間使える市民農園、虫喰い状態の開発抑制①【8 枚】
- 農風景のある街並（昔の農風景の再現、馬車道、あぜ道、体験宿、電柱を無くす、大型建物に緑確保）③【7 枚】

3) にぎわい施設について

重要と思われる意見

■ 商業施設【34 枚】

- 飲食店について 地場野菜を使ったレストラン、古民家利用も①【10 枚】
- 商業施設（ファーマーズマーケット）野菜／果実⑧【9 枚】
- 三鷹の農産物を売る「道の駅」などの施設を東八道路ぞいに作る⑦【7 枚】
- 地域に密接したレストラン（地産、第一種中高層住居専用地域の見直し）③【6 枚】
- 北野地区・目玉となる施設（農産物直売所、休息できる飲食店、温泉など）④【2 枚】

残したい意見

- 商業施設（お年より、共稼ぎ家庭が利用できるスーパー等）③
- 東八道路に商業、流通施設の集約⑧

4) まちづくりのルールについて

重要と思われる意見

■ まちづくりのルール【27 枚】

- 北野地区・建物用途の規制 看板（ラブホテルまがいの建物・大型トラックの集配所など）④【17 枚】
- ルールについて 緑豊かな北野のイメージを残すルール（建物・農地・林）①【6 枚】
- 建物のデザイン（高さ、色、花ベランダに）④【2 枚】
- 住宅地に出来るジャンクションなので、住宅地域の高さを 10m 以下を確保する⑦【2 枚】

残したい意見

- 建物 スカイライン揃える、上の階は花を出す、色彩も揃える④
- 品の良い街作⑥

5) コミュニティについて

重要と思われる意見

■ コミュニティ【45 枚】

- 北野が4分割されてしまうので、スポーツ広場・公会堂などをひとつになれる 地域の最中につくる⑦【13 枚】
- 安全・安心（交番・子どもの安全）⑧【12 枚】
- 分断されてしまう地域をまとめる「北野コミセン」が欲しい（保育園・児童館が入っている）②【9 枚】
- 地域コミュニティ（住民主体、子供が運営するお店、子供が発信する場所、世代間で協力しながら生活できるシステム）③【9 枚】

- シンボルマーク（モニュメント、桜並木）⑧【2 枚】

残したい意見

- JCT 蓋掛上部に地域コミュニティーを集約する⑥

6) 道づくりについて

重要と思われる意見

■ 安全で使いやすい道路・歩道の整備【103 枚】

- 50 年後を見すえた道路構造(自転車道、道幅、遊歩道)⑤【19 枚】
- 人にやさしい道作り（電柱をなくす、車歩道分離 等）⑥【15 枚】
- 生活道路の安全・安心を確保する（歩道・自転車道・通学路を考えて）⑦【13 枚】
- 機能補償道路（遊歩道・サイクリングロード）⑧【12 枚】
- 都道の延伸を進める⑥【9 枚】
- 北野地区の安全にあるける歩道（ガードレールの色を統一する）、車イスに配慮④【9 枚】
- 地域に住んでいる人が使いやすい道路整備をして欲しい（通学路、バス路線、自転車道）②【7 枚】
- 道路整備（歩行者が安全で季節を感じられ、夏の陽ざしを避けられる並木、自転車が安全で利用しやすい道路）③【7 枚】
- 生活補償道路（孤立しない）⑧【7 枚】
- 徹底的なバリアフリー（段差、歩道橋にエレベーター、お年より、こども、障害者に配慮）⑤【5 枚】

■ 遊歩道・回遊ルート【34 枚】

- 遊歩道について 北野をまあるくつなぐ遊歩道、道沿いに住民参加できるショップ①【19 枚】
- JCT 周辺を周遊する散策コース⑥【15 枚】

■ 道路設備【17 枚】

- 道路建設に伴うライフライン整備（電線の地中化、電気ガス水道網の充実）⑤【13 枚】
- 交通量増加に伴う騒音対策(柵、樹木、建築物)⑤【4 枚】

7) 自然エネルギーについて

重要と思われる意見

■ 自然エネルギー【8 枚】

- 北野の町を自然エネルギーの町とする（太陽光 地熱）など⑦【8 枚】

